

市長の ふれあい訪問

●今回の訪問先●

きらり川口盛人式 実行委員会

20歳の若者に「成人式」のお手本を示すとともに、これまでとこれからの人生を考え、さらに地域貢献を目的に隔年で開催され、今年で5回目を迎える「きらり川口盛人式」の実行委員会のみなさんを岡村市長が訪問。実行委員になったきっかけや式典の意義などをお聞きしました。



市長 みなさんこんにちは。今年も早いもので、あと2カ月となりました。秋深しという感じがします。今月の市長のふれあい訪問は、「きらり川口盛人式実行委員会」のみなさんです。どうぞよろしくお願ひします。

まず、はじめに実行委員長の清水さんにお聞きしますが、今年の盛人式はいつ開催されるのですか。

清水 今月7日の午後1時30分からリリアで行います。式典では、盛人エッセーコンテストの表彰式や盛人コーラス隊による歌声広場、フォークシンガールの山本コウタローさんをお呼びしての記念コンサートを開催します。式典終了後も、特設ディスプレイコーナーを設けてパーティーを開催します。

市長 実行委員会に参加されたきっかけは何ですか。

鶴田 前回の盛人エッセーコンテストで入賞し、表彰式に出席させていただいたのがきっかけです。今度は私が盛人式で何か



のお役にたてればと思ひ参加しました。

河原 「広報かわぐち」で実行委員を募集していることを知り応募しました。盛人式当日は、司会の大役を仰せつかり、今から緊張していますが、がんばりたいと思います。

市長 以前の盛人式は、50歳から成熟した盛んなる人と称して、おおもむね50歳の方を対象としていましたが、今回の対象者はどうなのですか。

吉川 50歳代の方ももちろんのこと、60歳の節目の方にも参加していただき、人生の節目を祝う「盛人式」として開催します。

市長 当時荒れていた20歳の成人式に対して親世代である50歳代の大人が手本を示すとともに、これからの自分の人生を考えていこうという趣旨で開催されている盛人式ですが、実際50歳を迎え、実行委員になられてどの

ような感慨がありますか。

高星 実は母を53歳で亡くしており、50歳という年齢に恐れがありました。母の年齢を超えるまで生きるということが私の目標でした。また、同じ年代の仲間と出会えて、自分の居場所ができて、幸せを実感しています。川口に住んで25年、そして50歳になり、今年が大きな節目だと思っています。

富田 楽しく充実した50歳を迎えられ、実行委員会のみなさんをはじめ、関係者の方に感謝しています。前回はコーラス隊で参加させていただきましたが、実行委員のみなさんが一生懸命で、文字どおり手作りの式典だと感じました。今回は、作る側になりたいという思いで参加しました。

川越 現在母の介護をしていますが、50歳という人生の節目を迎え、これからの自分の人生も考えなければいけないということで、社会と何らかの形でつながっていたいという思いがありましたので、参加しました。

市長 歳を重ねるごとに、いろいろな方と知り合うチャンスが少なくなりますが、その意味でもこの盛人式を行うことは、



知り合うきっかけの場にもなりますね。

当日は、昔の仲間に出会え、同窓会のようなのも良いと思います。

最後に、「きらり川口盛人式」の開催にあたっての抱負などをお聞かせください。

清水 多くのみなさんに参加していただき、いろいろな方との出会えるきっかけになればと思います。そして、委員がまとまり、楽しく和気あいあいと盛人式を盛り上げ、無事成功させたいと思っています。

市長 大成功をお祈りしています。今日はありがとうございました。